

# 「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 19 日

事業名称		消防施設管理費〔消防水利施設の維持管理〕									
予算科目	款	9	消防費	項	1	消防費	目	3	消防施設費	事業番号	1
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	防災安全 課 消防 係					課長名	伊野宮 崇				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	4 - 6		
【施策名】 防災・防犯体制の推進								総合計画書(ページ)	93		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	消火栓・防火水槽 →					消火栓・防火水槽の設置箇所数					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 消防水利の基準(昭和39年12月消防庁告示第7号)等に基づき、市内の消防水利を整備する。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 防火水槽等の無圧水利の充足メッシュ数。 ※消火栓の整備率は、100%を達成している。 ※これまで「消火栓・防火水槽の設置箇所数」を成果指標としていたが、ここで「防火水槽等の無圧水利の充足メッシュ数」に改めた。					
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
消火栓・防火水槽の新設等 →					防火水槽等の無圧水利の整備率。 ※消火栓の整備率は、100%を達成している。						
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	箇所	1,005	1,009	1,016					
	成果指標	②の数値	個	225	225	225					
	目 標	②の目標値	個	262	262	262					
目標値設定の考え方 無圧水利メッシュの総数262箇所とする。											
活動指標		③の数値	%	87.8	87.8	87.8					
3 経費	事業費(実績)		円	39,540,056	29,850,735	35,489,115	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	39,540,056	29,850,735	35,489,115					
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1					
		所要人数(再任用)	人	0	0	0					
		職員人件費(再任用以外)	円	824,400	831,000	831,000					
職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費		円	40,364,456	30,681,735	36,320,115						
4 環境変化等	(1) 開始年度		19 年度								
	(2) 環境の変化 消防法第20条第2項に基づき、従前は、市水道事務所が「消防に必要な水利施設」(消火栓)の維持管理を行ってきた。平成19年度に市水道事務所の受託業務が東京都へ移管されたことに伴い、東京都水道局と協定を締結し、これ以降、修繕工事等の施工は東京都水道局が行うものの、市の責任において公設防火水槽及び消火栓の維持・管理を行っている。										

事業名称	消防施設管理費[消防水利施設の維持管理]			
担当部署・課長名	防災安全	課	消防	係 課長名 伊野宮 崇

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 市民から、防火水槽の耐用年数について問い合わせがあった。 市民から、消火栓看板が劣化しているとの情報提供があった。 東京都水道局が市内の消火栓室内の点検を行い、多くの箇所でもボルト等の劣化について、情報提供があった。 市が管理している防火水槽において、市民から除草の要望があった。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ <input type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法：⑥取組手法：防火水槽及び消火栓の劣化状況について、市民が情報提供をしてくれた。 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
7 課題	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 市民から消火栓看板の劣化状況等について情報提供があったが、今後も、情報提供について自治会の協力が得られれば、より効率的に看板の維持管理が行えるようになる。			
	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 予算の確保			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 消防水利施設の劣化状況の把握や適正管理を行うためには、多大な時間を要するところ、令和3年度は、東京都水道局が市内の消火栓室内の点検を行い、多くの場所でボルト等の劣化が確認されたため、これらの対応を重点的に行った。また、このことに伴い、今後の修繕料の増額が見込まれるため、消火栓の維持・管理を行っている東京都水道局に対する負担金について、令和4年度当初予算の増額を図った。 (3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 予算の確保。 消火栓については、維持管理経費の確保が課題と考える。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 防災・防犯体制の推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 予算の確保。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 効率的な消防水利施設等の維持・管理を行うにあたり、引き続き、業者による標識の撤去・新設を行う必要がある。			